

社団法人ゴルファーの緑化促進協力会調査研究

環境と人にやさしい ゴルフとゴルフ場

第17回

もしも小学校の校庭が芝生になったらなら

—「芝生の校庭」を根付かせるために—

NPO法人芝生スピリット 代表理事 遠藤隆幸



1. はじめに

2001年秋に社団法人ゴルファーの緑化促進協力会のご理解とご協賛を受け、神戸市北区にある神戸市立桜の宮小学校の校庭を芝生化して以来、芝生スピリットは複数の学校・幼稚園・保育園・福祉施設等のグラウンドを芝生化すると共に芝生化後の維持管理やご相談ごとにも様々な形でお答えしながら「継続」を合い言葉に活動を行って来ました。

そういう活動の中で近年、ゴルフ界（ゴルフ場）との連携に新しい芽を感じるようになりました。



2. 「自分たちでつくり育てる」 = 「自分たちの財産」 という意識を持ってもらう

我々は、利用者（児童やその保護者、さらに地域の方々）自身が芝生の校庭をつくり・育むことで芝生の校庭が地域コミュニティの“場”となれるようにと考えています。

校庭という場所柄、体育の授業や遊び時間やクラブ活動、週末の地域活動などで頻繁に使用されるため、同じ場所を集中して使わないなど、芝生の校庭に対しての「正しい理解・各学校に合わせたルール作り」が芝生の校庭と上手くつきあい続ける不可欠の条件であり、何より利用者の「意識」として必要となります。



神戸市立港島小学校 地域の方や保護者も参加して、蒔芝作業を行う

利用者自身が「つくり育てる」ことによって「誰かが与えてくれたもの」ではなく「自分たちの財産」

という意識を持つことになり、芝生を維持する大きなモチベーションに繋がります。業者や管理者にまかせきりの施工やメンテナンスだけでは生まれないこのような利用者の『意識』は校庭芝生化の大切なポイントです。



3. もしも小学校が芝生になったならどんな変化が期待できるか

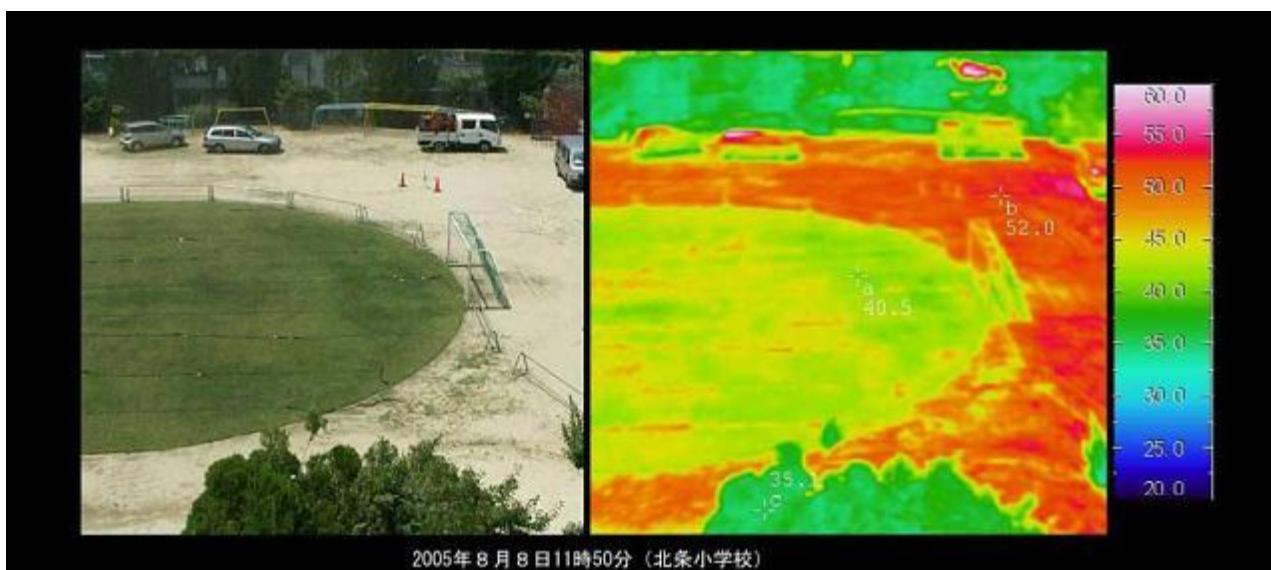
■校庭が芝生になることで、心身ともに『こども』が変わります。活動の中で次のようなことを耳にし、そして『こども』の変化を感じています。



神戸市立港島小学校「芝生の運動会」

- ・冬期でも休み時間に教室に残っている子どもが殆どいなくなりました。
- ・子どもが自主的に校庭の使い方やルールを考え出して実行するようになります。
- ・思い切り遊ぶ中で起きる喧嘩、そしてその喧嘩を解決していくことで自然と人間関係を学んでいます。
- ・昨年から今年の冬にかけてインフルエンザにかかった子どもは近隣の他校に比較して半分以下となっています。
- ・他の学校に比べ運動量が増えるため、給食の食べ残しが圧倒的に少なくなっています。

■環境の変化が感じられます。



平成 18 年 3 月 大阪府校庭芝生化調査より

調査指導協力：和歌山大学システム工学部 山田宏之助教授

赤外線カメラを用いて、サーモグラフィによる日中の表面温度分布の推移を調査した結果、最も温度差が出た時間帯（12時前後）では、芝生面と土の部分では10度以上の温度差が出ました。（平成17年 大東市 北条小学校）



4. 芝生の校庭を維持管理するための課題

校庭における芝生はゴルフ場やサッカー場のように人手や費用をかけたメンテナンスは不可能です。天水の利用、安価なポット苗での修復など、色々な工夫と知恵で費用削減とやり方を模索していますが、芝刈り機やエアレーションの機械・冬芝の種や肥料など、学校の予算では賄いきれないものも多く、芝生化を希望しながらも踏み切れないという課題の一つとなっています。



5. ゴルフ界（ゴルフ場）との新たな連携による効用

校庭の芝生化は着実に実施例が増えていますが、実施校の全てが良好な状態を維持しているわけではなく色々な課題を抱えています。大きな課題として維持管理の知識と情報、継続して芝生の校庭を維持管理していく費用の捻出、もしくは維持管理に必要な物品の確保があります。我々がサポートしている小学校では、兵庫県内のゴルフ場さんから譲り受けた寒冷紗を芝生の保護に活用したり、余った冬芝の種をいただきウインターオーバーシードを行ったり、また目砂散布機をお借りしたりなど、芝生の維持管理面で大変助かった事例がありました。



芝生化された桜の宮小学校の校庭

ゴルフ界（ゴルフ場）との新たな連携・ネットワークは「芝生の校庭」を支える大きな力になると感じています。近々ゴルフがオリンピックの正式競技になる可能性もあり、スター選手も国内外で素晴らしい活躍をし、ゴルフに関心の無かった人からもより注目度が高まっています。しかし一般の方の中にはゴルフ場＝環境破壊という誤った印象を持たれている事も多く、残念に思うことしきりです。今後、ゴルフ界（ゴルフ場）が地域を支える力として身近な存在になれば、今までの誤った印象も払拭され、「芝生の校庭」が根付く大きな展開とゴルフ界（ゴルフ場）の新たな発展に繋がるのではと考えています。

【問い合わせ先】 特定非営利活動法人 芝生スピリット

TEL/FAX : 06(6942)5290 <http://www.shibafu.com/>